

シングルレバー混合水栓用 ヘッドパーツ

A-6126
A-7771

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分に理解のうえ
部品交換してください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

お客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(コールセンター・夏期・年末年始の休みは除く)

*フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話
などではご利用できない場合がございます。
下記番号をご利用下さい。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は

お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

受付時間 9:00～20:00 (365日受付)

FAX ☎ 0120-179-456

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

1. 交換の前に

安全上のご注意

- 部品交換した後、各部を操作し正常に作動すると共に水漏れなどの不具合が無いことを確認してください。

部品交換前のご注意

- シングルレバー混合水栓用ヘッドパーツは、水栓仕様の相違より、部品交換方法が以下の3タイプに分かれます。

Aタイプ キッチン用SF-HB45型、SF-HE45型

Bタイプ キッチン用SF-HK45型

Cタイプ 洗面用LF-HC39型

2. 部品交換方法

Aタイプの場合 ※品番によってイラストが異なります。

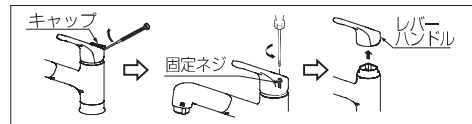
※外した部品は再使用しますので、なくさないでください。

- ①止水栓を閉じます。

※専用の止水栓がない場合は元栓を閉じてください。

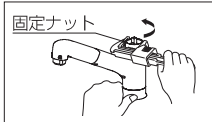
※レバーハンドルを操作し、水が出ないことを確認してください。

- ②精密ドライバー(マイナス)でキャップを外し、ドライバー(プラス)で固定ネジを左に回してゆるめ、レバーハンドルを引き抜いて外します。

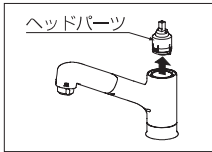


- ③モーターレンチで固定ナットを左に回してゆるめ外します。

※ワンホールタイプの水栓の場合、水栓本体が共回りする恐れがありますから、本体を手で押さえながら外してください。



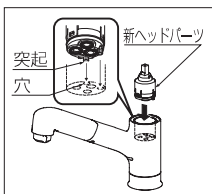
- ④水栓本体からヘッドパーツを引き抜いて外します。



- ⑤新しいヘッドパーツをセットします。

※新しいヘッドパーツをセットする前に水栓本体を水洗い清掃してください。

※ヘッドパーツ底面の突起部を水栓本体の穴とほぼ同じとなるような位置で回転するようにして位置合わせし、セットしてください。



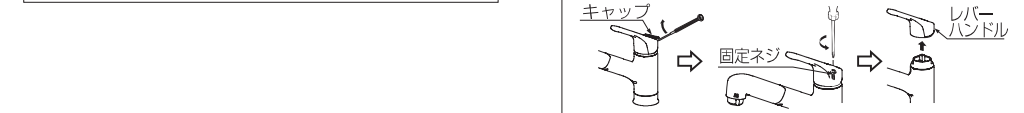
Bタイプの場合 ※品番によってイラストが異なります。

※外した部品は再使用しますので、なくさないでください。

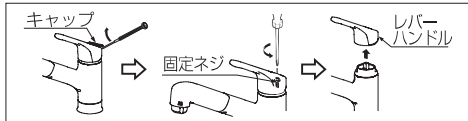
- ①止水栓を閉じます。

※専用の止水栓がない場合は元栓を閉じてください。

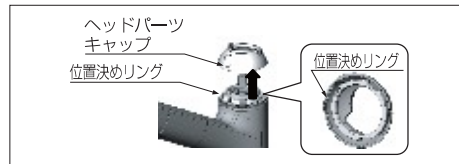
※レバーハンドルを操作し、水が出ないことを確認してください。



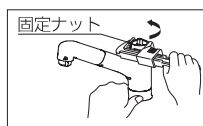
- ②精密ドライバー(マイナス)でキャップを外し、ドライバー(プラス)で固定ネジを左に回してゆるめ、レバーハンドルを引き抜いて外します。



- ③ヘッドパーツキャップを引き抜いて外します。
※この際位置決めリングも一緒に外れる場合がありますが故障ではありません。

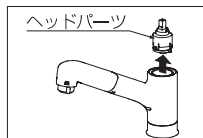


- ④モーターレンチで固定ナットを左に回してゆるめ外します。



※ワンホールタイプの水栓の場合、水栓本体が共回りする恐れがありますから、本体を手で押さえながら外してください。

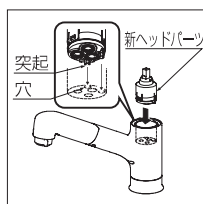
- ⑤水栓本体からヘッドパーツを引き抜いて外します。



- ⑥新しいヘッドパーツをセットします。

※新しいヘッドパーツをセットする前に水栓本体を水洗い清掃してください。

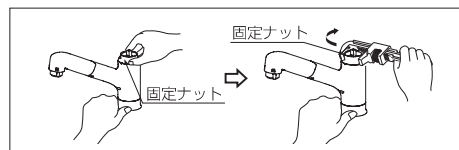
※ヘッドパーツ底面の突起部を水栓本体の穴とほぼ同じとなるような位置で回転するようにして位置合わせし、セットしてください。



- ⑦手で固定ナットを右に回してしっかり締め付けてから、モーターレンチで更に右に約3mm程度増し締めします。

※固定ナットを締め過ぎるとレバー操作が重くなり、締め足りないと漏水する恐れがあります。

※ワンホールタイプの水栓の場合、水栓本体が共回りする恐れがありますから、手で本体を押えながら増し締めしてください。



Cタイプの場合 ※品番によってイラストが異なります。

※外した部品は再使用しますので、なくさないでください。

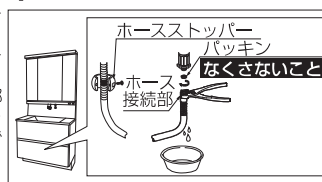
- ①止水栓を閉じます。

※レバーハンドルを操作し、水が出ないことを確認してください。

※専用の止水栓がない場合は元栓を閉じてください。

- ②【ホース収納式の場合】

化粧台内部のホース接続部を外し、ホースストッパーを外します。
※ホース接続部のパッキンをなくさないでください。



- ⑧位置決めリングを固定ナットの奥まで挿入し、位置決めリングの凸形状が前を向くように位置を合わせます。位置決めリングが外れている場合も同様に作業します。



- ⑨ヘッドパーツキャップを組み付けます。

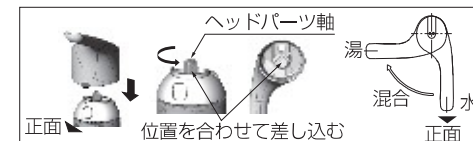
※ヘッドパーツキャップの後側脚部と位置決めリングの後側脚部を合わせて、パチンと音がするまで下へ押し込みます。



- ⑩レバーハンドルをヘッドパーツに差し込みます。

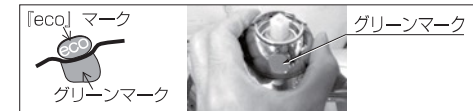
※レバーハンドルが正面位置のときに水が吐き出される仕様です。ヘッドパーツ軸を水側に回した状態でレバーハンドルが正面位置を向くように差し込みます。

※止水栓を元の位置まで開け、レバーハンドルを操作し、動きがスムーズか、漏水などの不具合がないかなどを確認してください。

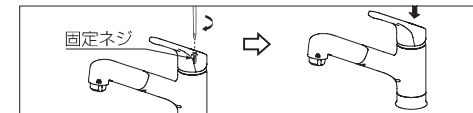


- ⑪レバーハンドル正面位置(水)で吐き出し操作をし、ハンドルの「eco」マークと本体のグリーンマークが重なり合うことを確認してください。

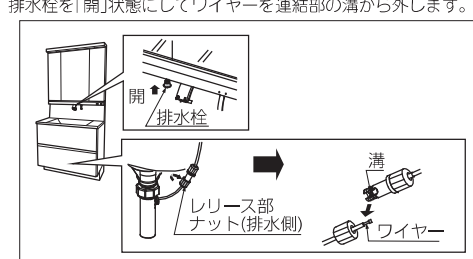
※重なり合わない場合はレバーハンドルを外してグリーンマークが正面を向くように、ヘッドパーツキャップの位置合わせをしてください。



- ⑫ドライバー(プラス)で固定ネジを右に回して締め込み、レバーハンドルをヘッドパーツに固定してからキャップをはめます。



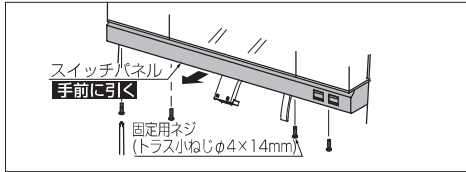
- ⑬化粧台内部の、リリース部ナット(排水側)をゆるめて外した後、排水栓を「開」状態にしてワイヤーを連結部の溝から外します。



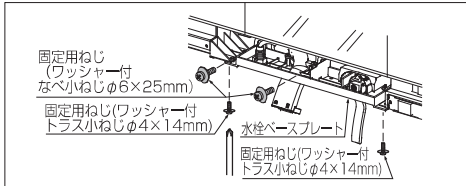
④キズ・破損を防ぐため、ダンボールやタオルなどで洗面器の壁面や、洗面ボウル内を養生してください。



⑤スイッチパネル固定ねじを外し、スイッチパネルを手前に引いて取り外します。

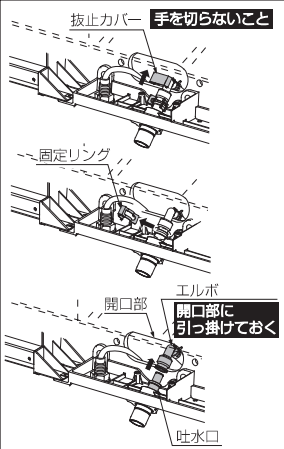


⑥ベースプレート固定用ねじ4本を外します。

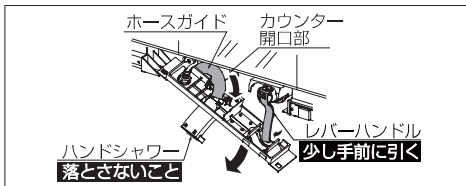


⑦【吐水口固定式の場合】

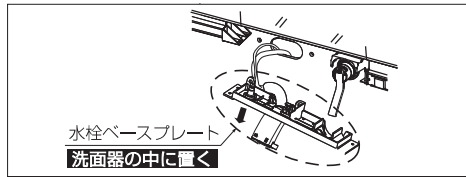
抜止カバー・固定リングを外し、エルボから吐水口を外します。
※抜止カバーを外す際、固定リングで手を切らないようご注意ください。
※外したエルボは、カウンター開口部に引っ掛けるなどして、カウンター開口部から出したままにしてください。
※エルボを外す際、水栓内に残った水が排出されますので、ご注意ください。



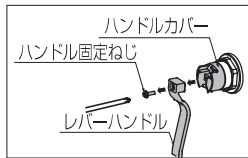
⑧ベースプレートをレバーハンドルから外した後、ホース収納式は、ホースガイドをカウンター開口部より取り外します。
※レバーハンドルを少し手前に引いて、ベースプレートを取り外してください。
※ベースプレートを外すときに、レバーハンドルをキズつけないようにしてください。
※ハンドシャワーを落とさないように注意してください。



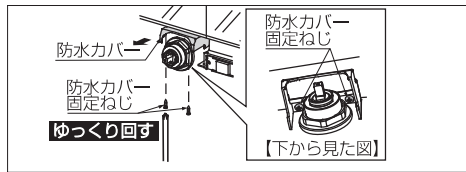
⑨水栓ベースプレートを洗面器の中に置きます。



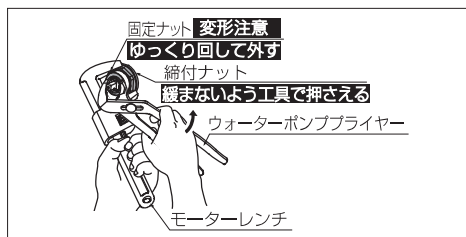
⑩プラスドライバーでハンドル固定ねじを外して、レバーハンドル・ハンドルカバーを取り外します。



⑪防水カバー固定ねじ(2本)を外し、防水カバーを取り外します。
※インパクトドライバーは使用しないでください。ねじ穴が破損し取り外しできなくなる恐れがあります。
※防水カバー固定ねじはゆっくりと回して取り外してください。ねじ穴が破損し取り外しできなくなる恐れがあります。



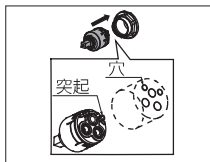
⑫締付ナットをモーターレンチで押さえながら、ウォーターポンプブライヤーまたはモーターレンチで、固定ナットを左に回して緩め、ある程度緩んだら手で回して、固定ナットを外します。
※締付ナットが緩む恐れがあるため、必ず締付ナットを工具で押さえてください。
※固定ナットはしっかりと工具ではさんでから、ゆっくりと回して外してください。キズ・変形の原因になります。



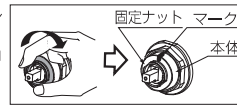
⑬水栓本体からヘッドパーツを引き抜いて外します。
※きつくて外せない場合は、再度レバーハンドルをヘッドパーツに戻して軽くネジ止めし、レバーハンドルごと引き上げれば、比較的容易に外せます。



⑭新しいヘッドパーツをセットします。
※新しいヘッドパーツをセットする前に、水栓本体内部を水洗い清掃してください。
※ヘッドパーツ底面の突起部を、水栓本体の穴がほぼ同じとなるような位置で回転するようにして位置合わせし、押し込み、セットしてください。



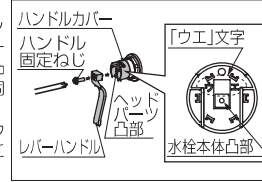
⑮手で固定ナットを右に回してしっかりと締め付けてから、本体と固定ナット間に、縦に油性ペン等でマーキングします。



⑯ウォーターポンプブライヤーまたはモーターレンチで、固定ナットを右に【約3mm】程度増し締めします。
※固定ナットを締めすぎると、レバー操作が重くなり、締め足りないのと漏水する恐れがあります。必ずマーキングして適切に増し締めしてください。
※固定ナットはしっかりと工具ではさんでから、ゆっくりと回して締め付けてください。キズ・変形の原因になります。

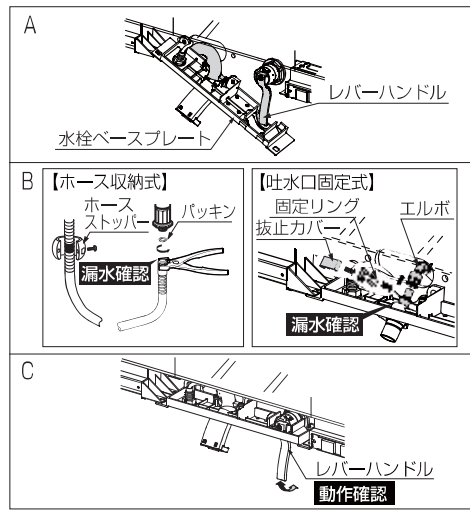


⑰ハンドルカバーを固定ナットに取り付けた後、レバーハンドルをヘッドパーツ凸部に差し込み、ハンドル固定ねじを固定します。
※ハンドルカバーは、「ウエ」文字が読める向きに取り付けてください。

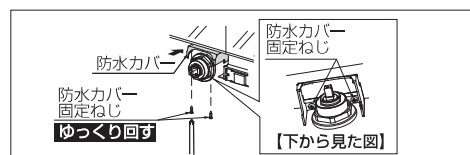


通水確認

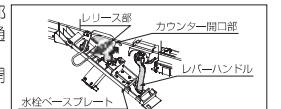
⑱水栓ベースプレートをレバーハンドルに通し(A)、給水接続し(B)、水栓ベースプレートをCの状態では仮固定してください。その後、止水栓を元の位置まで開け、レバーハンドルの動きがスムーズか、漏水などの不具合がないかを確認してください。



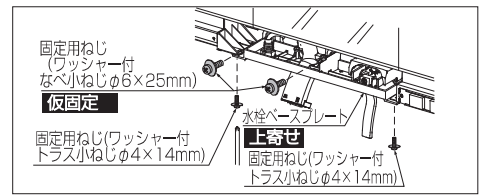
⑲不具合がないことを確認後、水栓ベースプレートをいったん外し、防水カバーを取り付けます。



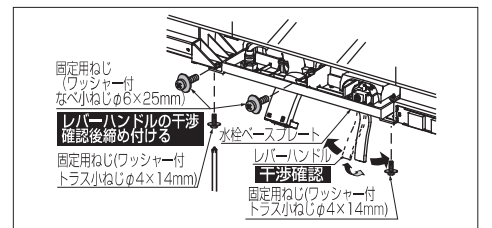
⑳水栓ベースプレートの開口部に、再度レバーハンドルを通します。
※リリース部はカウンター開口部に入れてください。



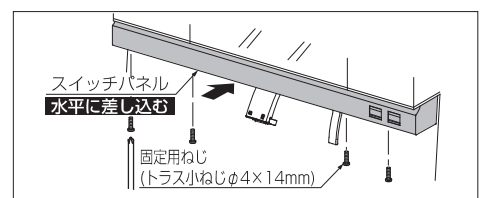
㉑水栓ベースプレートを、固定用ねじ2本(ワッシャー付ねべ小ねじφ6×25mm)で、カウンターに仮固定した後、上寄せにし、固定用ねじ2本(ワッシャー付トラス小ねじφ4×14mm)で、下側からミラー部に固定します。



㉒レバーハンドルを前後左右に動かし、水栓ベースプレートとレバーハンドルが干渉しないことを確認します。干渉する場合はねじを再度緩め、水栓ベースプレートを上に寄せて固定してください。その後、固定用ねじ2本(ワッシャー付ねべ小ねじφ6×25mm)を締め付けて固定してください。
※レバーハンドルをしるほど強く操作した場合、レバーハンドルが部材に干渉することがありますが、部品の破損防止のためであり、問題はありません。



㉓スイッチパネルを水平に差し込み、固定用ねじで取り付けます。



㉔化粧台内部のワイヤーを排水金具と接続した後、排水栓を操作し、問題なく動くことを確認します。
※取付時は、排水栓を「開」状態にし、必ずワイヤーを溝に通した後、ナットを締め付けてください。

